

平成30年度全国学力・学習状況調査結果分析と改善方策（宇佐市）

平均正答率（％） ※大分県・全国は公立の平均正答率。

【小学校】

小学校6年					
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
宇佐市	75.1	59.8	68.7	56.3	65.1
大分県	71.7	56.2	65.3	52.4	63.2
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

【中学校】

中学校2年					
	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
宇佐市	78.5	63.0	68.6	46.1	69.0
大分県	76.7	61.5	66.4	45.3	67.0
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

1. 教科ごとの結果分析と改善方策

小学校 国語

【国語A】

	全体	観点別			
		話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
宇佐市	75.1	92.4	77.7	77.2	72.2
大分県	71.7	91.4	74.8	74.0	68.3
全国	70.7	90.8	73.8	74.0	67.0

○教科全体で、全国値を上回っている。

○観点別でも、すべての項目において全国値を上回っている。

○「漢字」「慣用句」「敬語」で、正答率が高い。

△「文のつながりの合っていない分を書き直す(主語・述語)」は、全国値は上回っているが、正答率は41.3%と問題の中で最も低い。

【国語B】

	全体	観点別		
		話す・聞く能力	書く能力	読む能力
宇佐市	59.8	66.2	52.0	61.1
大分県	56.2	65.9	47.6	53.6
全国	54.7	64.6	45.6	50.8

○教科全体で、全国値を上回っている。

○観点別でも、すべての項目において全国値を上回っている。

○問題別では、「条件作文」の正答率が全国・県に比べかなり高い。

△「話し合いの参加者として質問の意図を捉える」で、やや課題が見られる。



改善方策

(1) 更なる言語活動の充実

○つけたい力を明確にし、常に意識をさせながら言語活動をさらに充実させる。

○「物語の構成」(はじめ・中・終わり)を意識させる学習

○さまざまな資料情報をもとに目的に応じて自分の考えを書く活動を計画的に取り入れる。

(2) 「書くこと」を苦手としている児童への支援

小学校 算数

【算数A】

	全体	観点別			
		数と計算	量と測定	図形	数量関係
宇佐市	68.7	66.3	78.7	61.0	66.1
大分県	65.3	63.6	74.8	58.4	61.2
全国	63.5	62.3	72.7	56.9	60.1

○教科全体で、全国値を大きく上回っている。

○観点別でも、すべての項目において全国値を大きく上回っている。

○問題別では「針金1mの重さを求める式」「分度器」「折れ線グラフの変化」で全国値を大きく上回っている。

△問題別では、「0.4m…60g 0.2m、0.1m では何 g」「5口3の口に入るすべて」の2問が全国値より低い。

【算数B】

	全体	観点別			
		数と計算	量と測定	図形	数量関係
宇佐市	56.3	62.9	56.1	65.2	49.3
大分県	52.4	59.2	52.3	61.7	45.6
全国	51.5	58.4	52.4	59.9	45.1

○教科全体で、全国値を大きく上回っている。

○観点別でも、すべての項目において全国値を大きく上回っている。

○問題別では、「1点に集まった角の大きさ360°をもとに『かごめ模様』について説明する」

「折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を記述する」が全国値を大きく上回っている。

→「説明する力」が身につけている。

△全国値を上回っているが、「メモの情報とグラフの関連付け・棒グラフと帯グラフから読み取る」の正答率は「26.5%、29.0%」と低い。



改善方策

(1) 問題解決的な学習（算数的活動）の充実

○言葉や数、式、図、表やグラフを用いて、自分の考えを表現したり、説明したりする活動を設定する。

(2) 実感を伴う操作活動等の充実

○具体物や身近な題材を用いた実感を伴う授業の工夫、作図における操作活動等により、確実な技能の習得を図る。

(3) 基本となる事項のさらなる定着を図る。

小学校 理科

	全体	観点別			
		物質	エネルギー	生命	地球
宇佐市	65.1	64.8	56.1	80.1	53.6
大分県	63.2	62.4	55.8	77.6	51.2
全国	60.3	59.8	53.1	73.6	49.5

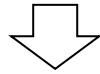
○教科全体で、全国値を大きく上回っている。

○観点別でも、すべての項目において全国値を大きく上回っている。

○「関節」「たい積」など知識に関する問題の正答率が高い。

△「野鳥のひなの適切な観察方法」「太陽の1日の位置の変化と光電池の置き方」の2問が全国値よりやや低い。→自然との関わりに課題。

△「流れる水の働き…実験結果をもとに考察し、わけを書く」全国値を上回っているが正答率 24.0%と低い。



改善方策

(1) 課題に対する予想、観察・実験の結果、図や表から読み取ったことを自分の言葉で考察したり説明したりする学習活動の充実。

(2) 探究する楽しさや達成感を体得させる学習指導の充実（おどろきや発見！）

(3) 日常生活や社会と関連した学習活動を充実する。

○自然とのふれあい・体験（体験できないものをどう可視化するか）

中学校 国語

【国語A】

	全体	観点別			
		話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
宇佐市	78.5	76.4	76.4	78.1	79.2
大分県	76.7	75.2	74.8	77.1	77.2
全国	76.1	75.2	73.9	76.7	76.5

○教科全体で、全国値を上回っている。

○観点別でも、すべての項目において全国値を上回っている。

○「漢字」「相手に分かりやすく伝えるように書く」「情報を整理し内容を捉える」「行書の書き方の理解」「歴史的仮名遣い」等で全国値より高い。

△「文脈の中における語句の意味理解」「話し合いの中で確認することを司会者として書く」で、やや課題が見られる。

△全国値より高いが、正答率の低かった問題「『せきを切ったように』の意味」(31.2%)「『心をうたれた』を使った文を書く」(25.2%)

【国語B】

	全体	観点別			
		話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
宇佐市	63.0	77.7	34.9	55.7	56.6
大分県	61.5	76.3	32.4	54.1	52.7
全国	61.2	76.6	31.3	53.5	49.2

○教科全体で、全国値を上回っている。

○観点別でも、すべての項目において全国値を上回っている。(※全体の課題「書くこと」30%台)

○問題別では、「『天地無用』を誤って解釈してしまう理由を書く」「(古典)登場人物の言動の意味を考える」で、やや課題が見られる。



改善方策

(1) 更なる言語活動の充実

付きたい力を明確にし、常に意識をさせながら言語活動をさらに充実させ、生活に活かせる「書く」「話す」力を身に付けさせる。

(2) 言語事項(文法や敬語)のさらなる定着や、古典等に興味を持たせる授業の工夫に取り組む。

中学校 数学

【数学 A】

	全体	観点別			
		数と式	図形	関数	資料の活用
宇佐市	68.6	75.3	72.1	55.4	64.1
大分県	66.4	74.0	68.5	54.2	61.3
全国	66.1	71.1	69.1	55.5	63.5

○教科全体で、全国値を上回っている。

△○観点別では、「関数」においてわずかに下回っている。昨年度課題であった図形は改善が見られる。

○問題別では、基本問題「絶対値が6である数すべて」「 $2 \times (-5^2)$ 」「a kg 3個と b kg 4個は 15 kg以上の不等式」「円柱の投影図」「四角柱の体積」「反比例のグラフ」等が全国値よりかなり高い。

△「 $S = 1/2ah$ の変形」[2(4)]「ひし形は点対称か線対称か」「(-2, 3)を座標平面上に表す」「歩いた道のりと残りの道のりの関係」「確率(相対度数)」で課題が見られる。

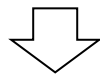
【中学校：数学B】

	全体	観点別			
		数と式	図形	関数	資料の活用
宇佐市	46.1	50.6	46.8	53.0	36.0
大分県	45.3	50.4	43.8	53.0	35.7
全国	46.9	51.4	46.7	52.8	38.0

○教科全体で、全国値を下回っている。

○△観点別では、「数と式」「資料の活用」で全国値を下回っている。「図形」「関数」は改善が見られる。

△「どんな整数を入れても4の倍数になることの説明(記述)」[2(2)]「S社の団体料金が通常料金の何%引きかを求める式」「団体料金10人分が通常料金の何人分かを求める計算からわかることの説明(記述)」…「記述式」の問いに課題が見られる。



改善方策

(1) 問題解決的な学習(数学的活動)の充実

○言葉や数、式、図、表やグラフ等を用いて、自分の考えを表現したり、説明したりする活動を設定する。

(2) 実感を伴う操作活動等の充実

○具体物を用いた実感を伴う授業の工夫や、作図における操作活動等により、確実な技能の習得を図る。

中学校 理科

【中学校：理科】

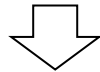
	全体	観点別			
		物理	科学	生物	地学
宇佐市	69.0	75.1	69.0	75.7	60.9
大分県	67.0	74.1	66.8	73.5	58.6
全国	66.1	74.4	65.0	72.5	57.8

○教科全体で、全国値を上回っている。

○○観点別でも、すべての項目において全国値を上回っている。

○問題別では、「無脊椎動物と軟体動物のつくりの違い」「質量パーセント濃度」「台風の進路を決める条件」「化学変化のモデルの説明」「ヒトの刺激と反応（知識）」が全国値を大きく上回っている。

△「(アサリを使った実験)1つの要因を変えると変わる可能性のある要因を指摘する」「台風の風向の予想」「電流計・電圧計・電気用図記号」に課題がある。



改善方策

- (1) 課題に対する予想、観察・実験の結果、図や表から読み取ったことを言語化して、考察、説明する学習の充実。
- (2) 探究する楽しさや達成感を体得させる学習指導の充実（おどろきや発見！）
- (3) 基礎となる知識の確実な理解と修得のための工夫

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）

【小学校 児童質問紙 結果】

◎全国を3ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）

番号	質問	宇佐市	全国	県	全国との差
1	家で、自分で計画を立てて勉強していますか	72.6	67.6	68.7	5.0
2	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	77.8	69.9	71.8	7.9
3	地域の行事に参加していますか	72.5	62.7	65.3	9.8
4	地域や社会で起きている問題や出来事に関心がありますか	69.2	63.8	63.1	5.4
5	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	56.0	49.9	48.6	6.1
6	5年までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	80.3	77.0	76.7	3.6
7	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	66.9	61.0	59.2	5.9
8	5年生までに受けた授業などで地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。	84.0	74.4	75.8	9.6
9	算数の勉強は好きですか	67.4	64.0	62.0	3.4
10	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	91.3	87.0	86.4	4.3

▲全国を3ポイント以上下回る項目

番号	質問	宇佐市	全国	県	全国との差
1	新聞を読んでいますか	16.4	19.9	15.8	△3.5

その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

質問	肯定値（宇佐市・全国・大分県）
平日1日当たりどれくらい勉強をしますか△	2時間以上 22.2%（全国 29.3% 県 27.3%）
平日1日当たりどれくらい読書をしますか◎	30分以上 46.1%（全国 41.1% 県 41.1%）

【中学校 生徒質問紙 結果】

◎全国を3ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）

番号	質問	宇佐市	全国	県	全国との差
1	家で、学校の宿題をしていますか	96.0	91.6	92.6	3.4
2	家で、学校の授業の復習をしていますか	58.5	55.2	55.0	3.5
3	先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか	87.6	82.2	85.2	5.4
4	地域の行事に参加していますか	56.7	45.6	46.7	10.0
5	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	45.3	38.7	41.0	6.6
6	地域社会の中でボランティア活動に参加したことがありますか	79.4	73.6	72.6	5.8
7	数学の勉強は好きですか	58.3	53.9	53.3	4.4
8	数学の問題で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	88.3	80.6	80.4	7.7
9	1. 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	78.7	73.8	74.2	4.9
10	生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか	82.2	76.3	78.1	5.9

▲全国を3ポイント以上下回る項目 数値は肯定値

番号	質問	宇佐市	全国	県	全国との差
1	理科の授業内容はよく分かりますか	66.4	70.0	68.8	△3.6
2	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	65.0	72.3	66.9	△7.3
3	新聞を読んでいますか	10.1	13.9	13.4	△3.8

その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

質問	肯定値（宇佐市・全国・大分県）
平日1日当たり授業時間以外に読書を読みますか	1時間以上 17.1% 全国 14.8% 県 15.0% （昨年度 20.4%—昨年度 11.1%）
平日1日当たりどれくらい勉強しますか	1時間以上 80.5% 全国 70.6% 県 82.1% ※全国より高いが県より低い
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	月1回以上 72.6% 全国 87.1% 県 86.0%

- ◇「計画を立てて学習する」など、「学びに向かう意欲」が高い傾向が見られる。保護者と連携し、さらなる定着を図っていく。
- ◇地域の行事への参加や社会の出来事に関する意識が高い。今後も、地域と連携した「ふるさと教育」の充実を図っていく。
- ◇新聞記事や図書資料等を活用した授業実践を進めていく。
- ◇テレビ視聴時間や携帯電話・スマートフォンの利用状況の改善等に向けて、PTA と連携した小中共通の取り組み等をさらに進める。

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙）

1 調査結果の概要（肯定的回答が特に多かった項目…○ 少なかった項目…△）

小・中学校：学校質問紙

- 習得・活用及び探究の学習課程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている。
- 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えている。
- 学習規律の維持を徹底している。
- 地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った。
- 児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する取組を行っている。
- 学力調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有している。
- 児童・生徒の特性に応じた指導上の工夫を行っている。
- 地域人材を外部講師として招へいした授業を行った。
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行った。
- 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会を設定した。
- 校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った。
- 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている。
- 学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有して、学校として組織的に取り組んでいる。
- △ボランティア等による授業サポートを行っている。（小）
- △生徒がコンピュータ等のICTを活用する学習活動をよく行っている。（中）
- △長期休業期間中に自由研究などの家庭学習の課題を与える。（中）

2 学校質問紙調査の結果をふまえて（今後の課題）

- ◇各学校において、学力や生活についての課題を共有し、組織的な取組が行われている。今後も校長のリーダーシップのもと、教育課程を計画・実施・検証・改善をしていく。
- ◇近隣小中学校や、保護者・地域と連携した取組ができている。今後も、近隣中学校合同教科研修会やブロック小中学校の連携を充実させ、指導力の向上を図っていく。
- ◇ICTや学校図書館を活用した授業を推進する。